

助成研究題目：出会いと人生-結婚活動から見る出会いの重要性-

卒業論文題目：「ひとりでは死にたくない」-街コンと結婚情報サービス調査からみる未婚男性の婚活-

現在、結婚を希望する男性が結婚に何を求めているのかを調べるために街コンと結婚情報サービスを用いて調査をした。街コンとは昨今巷で騒がれている、街おこしを目的とした大規模合コンを指す。街コンでのフィールドワークに加え、未婚の男性3人と結婚情報サービスの社員3人にインタビュー調査を実施した。

結果を大きくわけて4つの論点に分け、論じた。街コン、結婚情報サービス、同棲、未婚男性の求めるものの4つである。

まず、街コンは結婚を意識した出会いの場としてではなく軽い気持ちで参加する出会いのきっかけ作りの1つとして捉えられていた。街コンに参加した動機も友人に誘われてや、色々なひとと話したいなど結婚を意識して参加するひとはいなかった。

次に、結婚情報サービスは時代と会員の希望の変化に応じてサービスを変えてきたことがわかった。結婚するための手段としては、お見合い→データマッチング型の結婚情報サービス→見合いの要素の強い結婚情報サービスへと変化していた。現在の結婚を希望する未婚者は多くのひとを紹介してもらいたいが、ひとを介したきめ細かいサービスを求めていることがわかった。また、結婚情報サービスは、結婚を「したい」ではなく、「せねばならない」と考えるひとが利用する傾向があることもわかった。結婚情報サービスの会員は主体的に動き、結婚相手に求めるものが条件だけでないと気付けた時に結婚できる。それに気付かせるのも、結婚情報サービスの社員の役割であった。

3つ目に、今回インタビューをした未婚の男性3人ともに同棲経験があったが、生活環境に対する価値観の違いから別れてしまっていたりと、同棲と結婚は思っていた以上に結びついていなかった。同棲をしているカップルはそのまま結婚につながるというイメージを持っていたが、実態としてはそうではなかった。

最後に、当初の目的であった結婚を希望する未婚男性が求めるものは、年を重ねても長く一緒に生きていける保証、結婚することで生じる責任とそれがもたらすであろう安定感であった。さらには、男性自身は子どもを産むことができないことから子どもを求めている。未婚の男性の結婚願望には、年を重ねても一緒にいることができ、自分の人生の最後を看取ってほしいという切実な思いが潜んでいた。

最後に、この論文を書くにあたって後押しをしてくださった故川上宏先生とそのご家族に、改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。